

7 子どもを持つことへの考え

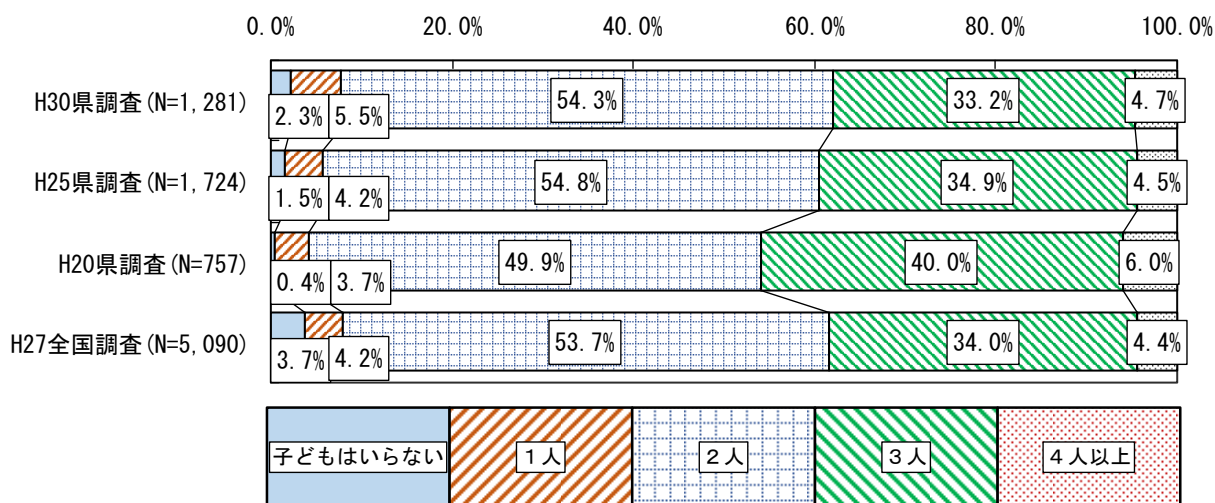
(1) 理想の子どもの人数

問 22 あなた方ご夫婦にとって、理想的な子どもの数は何人ですか。(〇は1つ)

理想の子どもの人数の分布は、「2人」が最も多く、次いで「3人」となっている。

夫婦の理想の子どもの数の平均は、2.35人だが、予定している子どもの数の平均(問23)は2.03人で、その差は0.32人となっている。前回調査の差(0.20人)と比較すると、やや差が広がっているが、全国調査の差(0.31人)とは同水準である。

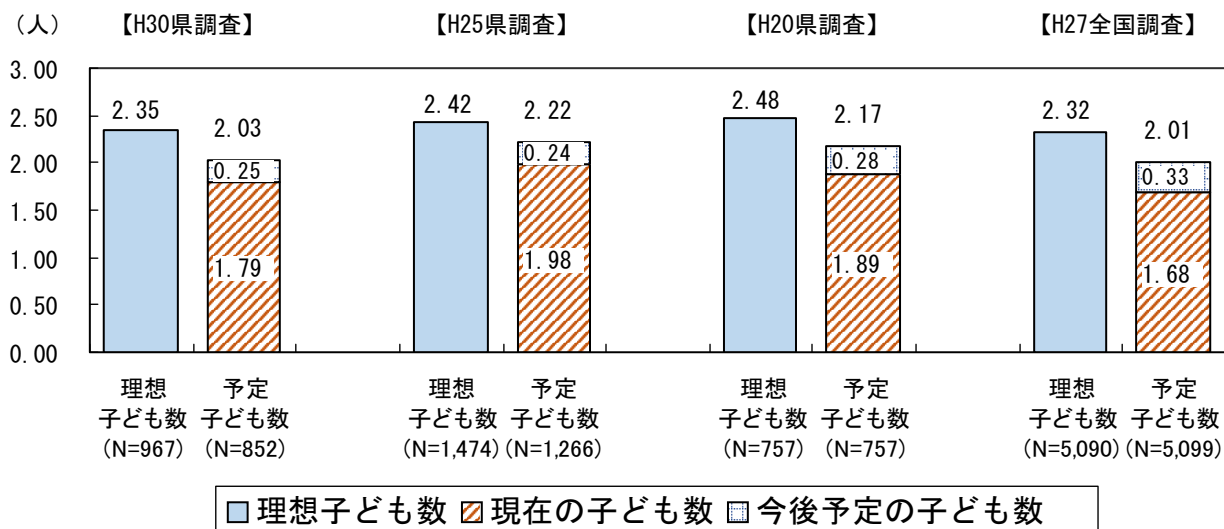
図表 理想の子どもの人数の分布



※無回答及び不詳を除く

※平成30年県調査は初婚どうしの夫婦、平成25年県調査・平成27年全国調査は初婚どうしの夫婦の妻

図表 理想・予定・現在の子どもの平均人数

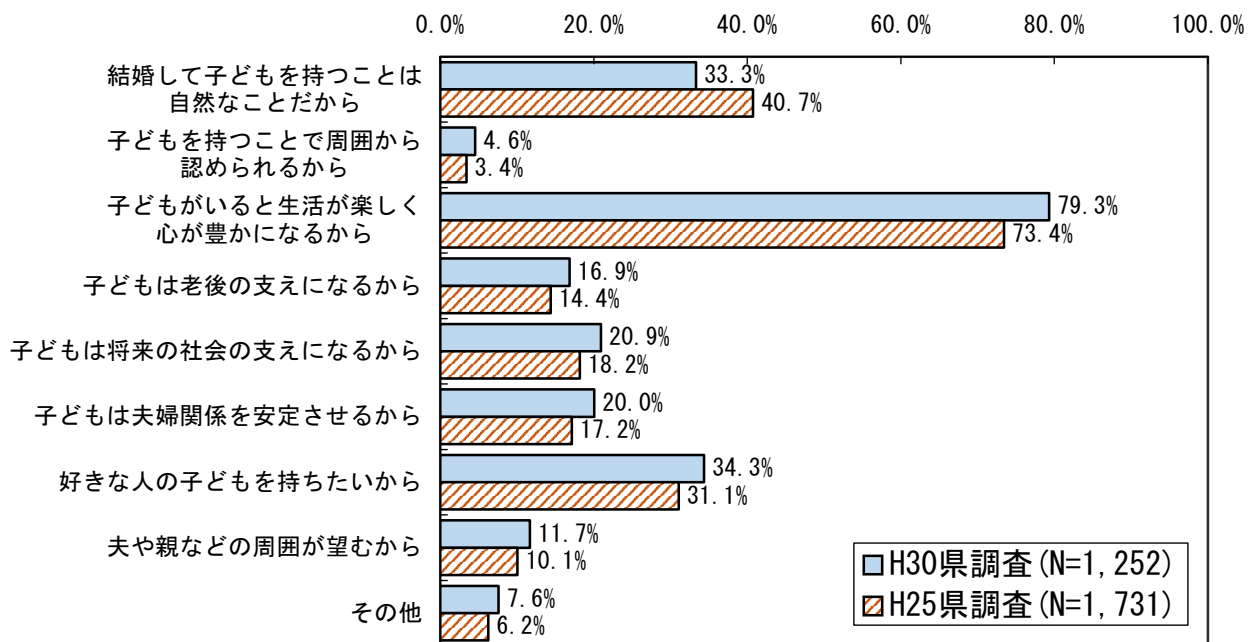


(2) 理想の子ども数を持つ理由

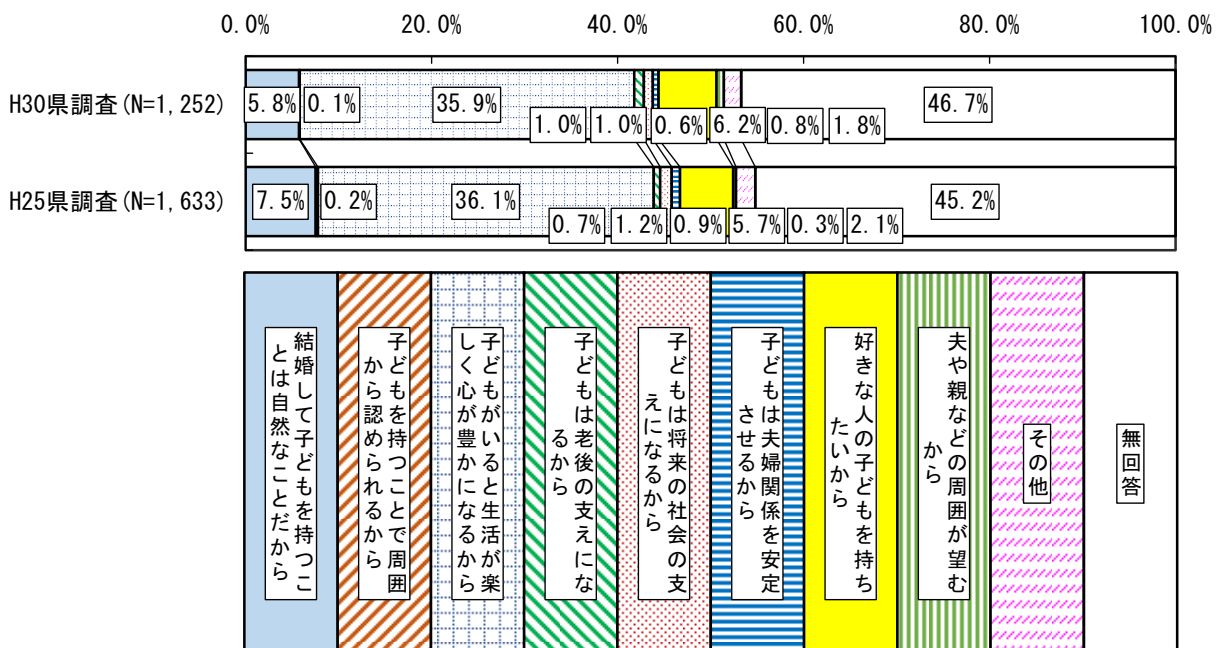
問 22-1 理想的な子どもの数を1人以上とお考えになる理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最大の理由には◎をつけてください。

理想子ども数が1人以上と回答した人に、子どもを持つ理由についてたずねると、「子どもがいると生活が楽しく心が豊かになるから」が79.3%で最も多く、次いで「好きな人の子どもを持ちたいから」(34.3%)、「結婚して子どもを持つことは自然なことだから」(33.3%)となっている。前回と比較すると、「結婚して子どもを持つことは自然なことだから」は7.4ポイント低下している。

図表 理想的な子どもを1人以上と考える理由（複数回答）



図表 理想的な子どもを1人以上と考える理由（最大の理由）



(3) 今後の子どもの予定

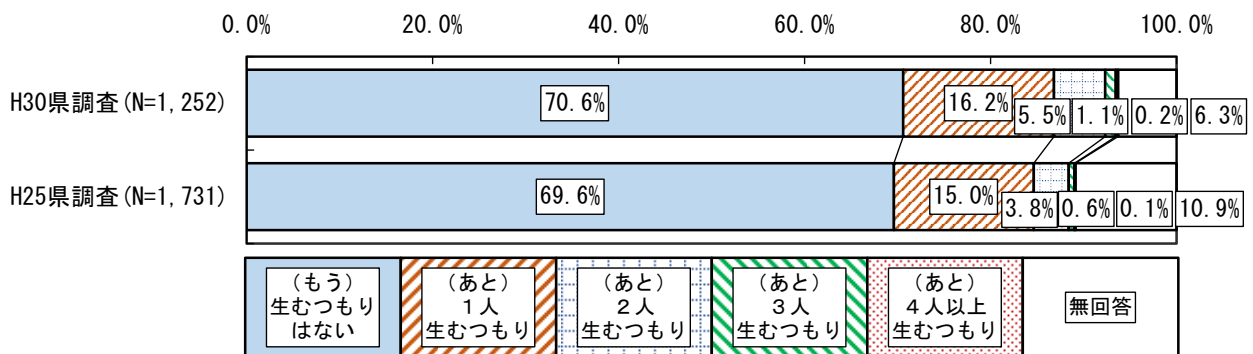
問22で理想的な子どもの数を1人以上と回答した方にうかがいます。それ以外の方は、問26へお進みください。

問23 あなた方ご夫婦の今後のお子さんの予定についておたずねします。①今後のお子さんの予定数と②希望の時期について、また、③今後の予定も含めて全部で何人のお子さんを持つつもりかを、あてはまる番号に○をつけてください。

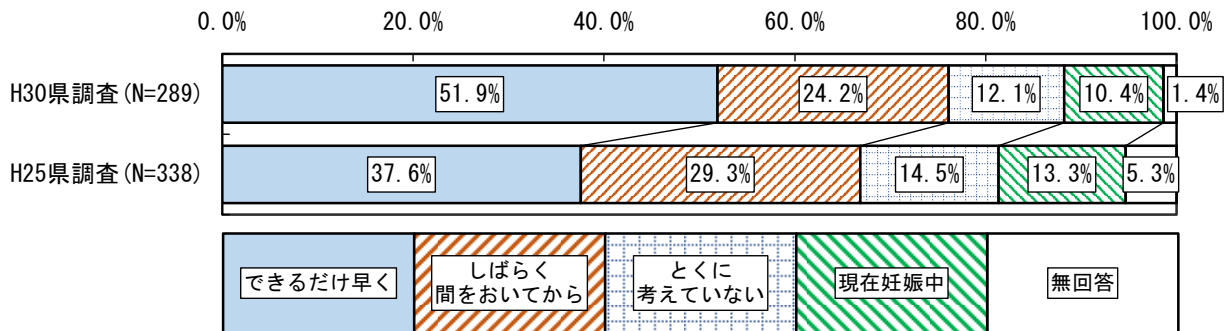
今後の子どもの出産予定は「(もう) 生むつもりはない」が約7割を占めている。子どもを生む予定のある方の希望の時期は「できるだけ早く」が51.9%と半数以上を占めている。

最終的な子どもの予定人数は「2人」が最も多く、平均2.03人で、前回調査から0.19人の減少となっている。

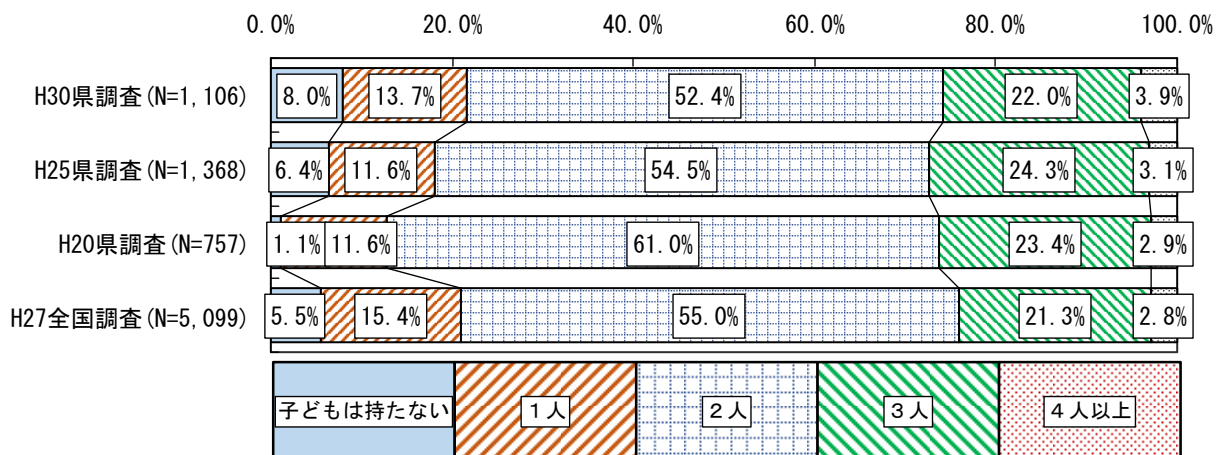
図表 今後のお子さんの予定数



図表 希望の時期



図表 最終的な子どもの予定人数の分布 (初婚同士)



※無回答及び不詳を除く

(4) 予定の子どもの人数が理想の子どもの人数より少ない理由

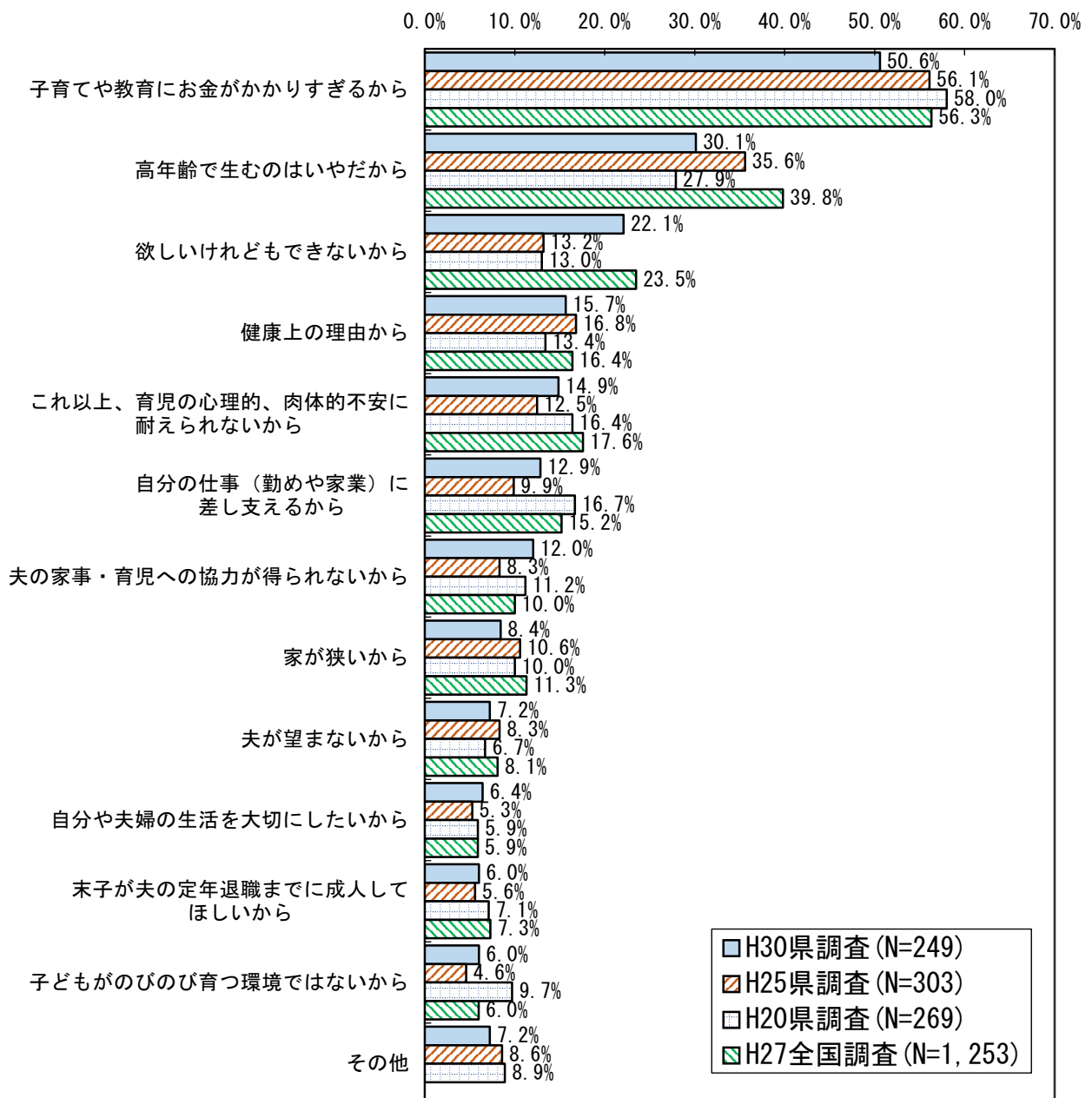
問22と問23で「持つつもりの子どもの数」が「理想とする子どもの数」より少ない方にうかがいます。それ以外の方は、問26へお進みください。

問 24 持つつもりの子どもの数（b：問 23③）が、理想とする子どもの数（a：問 22）より少ないのはどうしてですか。下の理由のうちから、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最大の理由には◎をつけてください。

予定の子どもの人数が理想の子どもの人数より少ない理由は、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が 50.6%で、前回調査及び全国調査の結果同様、最も高い。次いで「高年齢で生むのはいやだから」(30.1%)、「欲しいけれどもできないから」(22.1%) となっている。

前回調査に比べ、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が 5.5 ポイント低くなっており、「欲しいけれどもできないから」は前回より 8.9 ポイントの増加となっている。

図表 予定の子どもの人数が理想の子どもの人数より少ない理由（複数回答）（初婚同士）



図表 予定の子どもの人数が理想の子どもの人数より少ない理由（最大の理由）

| | H30県調査 N=139 | H25県調査 N=158 |
|----------------------------|-----------------|-----------------|
| 子育てや教育にお金がかかりすぎるから | 33.1% | 38.0% |
| 家が狭いから | 0.7% | 1.3% |
| 自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから | 2.2% | 1.3% |
| 子どもがのびのび育つ環境ではないから | 0.0% | 0.0% |
| 自分や夫婦の生活を大切にしたいから | 0.0% | 1.3% |
| 高齢で生むのはいやだから | 13.7% | 16.5% |
| これ以上、育児の心理的、肉体的不安に耐えられないから | 6.5% | 5.1% |
| 健康上の理由から | 9.4% | 12.7% |
| 欲しいけれどもできないから | 22.3% | 9.5% |
| 夫の家事・育児への協力が得られないから | 2.9% | 4.4% |
| 夫が望まないから | 2.2% | 0.6% |
| 末子が夫の定年退職までに成人してほしいから | 2.2% | 1.9% |
| その他 | 5.0% | 7.6% |

※無回答を除く

（５）子育てや教育にお金がかかりすぎると考える要因

問24で「1. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから」を選択した方にうかがいます。それ以外の方は、問26へお進みください。

問 25 子育てや教育にお金がかかりすぎると考える要因について、下の理由のうちから、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てや教育にお金がかかりすぎると考える要因は、約9割が「大学教育にかかる費用」、次いで約7割が「高等学校教育にかかる費用」を選択しており、高等教育の費用に負担感があることがわかる。

図表 子育てや教育にお金がかかりすぎると考える要因（複数回答）

